

## 「電動車」のグローバルな普及を見据えたクラリティシリーズ。

環境車と呼ばれるクルマの真の狙いであるCO<sub>2</sub>削減の達成に欠かせないものは、

エネルギー供給環境や充電インフラの整備状況など、世界各地の事情にあった低CO<sub>2</sub>エネルギーの

利用促進をより多様な方法で進めること。そんな将来へ向けての志から、

新しいクラリティシリーズは、PHEVをはじめ、FCV、EVをグローバルにラインアップしています。

まったく異なる3つのパワートレインを、あえて同一のプラットフォームに載せ、

エクステリア/インテリアも基本的に共通化する。私たちが「3in1コンセプト」と呼ぶこの方法は、

もちろん困難も伴いますが、環境車の普及に向けたHondaのメッセージでもあります。

同じクラリティでありながら、地域のエネルギー事情や個人のライフスタイルにあわせてパワートレインを選択できる。

——そんな方法で環境ユーザーの裾野を広げることこそ、新しいクラリティシリーズの使命と考えているからにほかなりません。

世界標準ともいうべき上質かつモダンなミドルサイズセダンとして誕生した次世代電動車。この基本さえ出来上がれば、

今後のワゴンやミニバン、SUV等にも、培った電動車技術を生かすことが出来るはず。

このクラリティシリーズには、私たちのそんな想いがこめられています。

